

あいばあつ子の活動報告



5月17日 改革21視察 島原振興局



5月17日 改革21視察 島原定点



8月9日 被爆者運んだ「原爆救援列車」モニュメント



8月23日 長与町から大石知事へ要望



9月10日 西九州新幹線カモメ試乗会



10月30日 地元まなび野東自治会 ハロウィーン 皆様の願いを空に飛ばしました



11月7日 ながさき新産業創造特別委員会視察 移住サポートプラザ

YouTube 第6弾

7:23長崎大水害から40年!

長崎県の防災、減災

長与町副知事さんと対談!

長与町副知事さんと対談! パリアフリーを進めよう

山田総務さんと対談

子供たちが自分らしく輝ける未来とは?

あいばあつこチャンネルはこちら

メンタルヘルス研修の1コマ

カウンセリングには段階的に進みます。
 カウンセリングとは、専門の知識や技術を持つカウンセラーと相談者（クライアント、来談者とも）との対話を通じて、相談者の抱える困りごとの解決をサポートするものです。
 皆さん、困っている事があったら相談して下さい。

カウンセリングのプロセス

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
CL 安心して語る	問題発生の原点、気づき	新たな展望 どうしたい	具体的な方策 実行、行動変容
リレーションづくり 信頼関係の形成	問題の把握 (自己責任の自覚)	目標の設定 (意思の決定)	目標の達成 (方策の実行)
		傾聴(態度・技法)	積極的な技法

笑顔で暮らせる長崎県へ!



長崎県議会議員

あいばあつ子 議 会 だより



No.13 発行責任者: 饗庭敦子 発行: 令和4年11月

昼夜の寒暖差がある時節柄、皆様にはおかれましては、くれぐれもご自愛専一でお過ごしください。日頃より私の議員活動に対し温かいご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

2年半以上に及ぶ、新型コロナウイルスの影響で、地域経済は、原油価格や物価の高騰などにより、さらに深刻な打撃を受けており、いろんな事業所の経営の状況が厳しいとお聞きしております。回復に向けて緊急に対策が必要であると思います。

長崎県では、9月の定例会では、新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰対策等に要する経費について計上し、公共交通事業継続への支援や緊急資金繰り支援資金の融資枠拡大など倒産に追い込まれることのないように補正予算を可決しました。

“あいばせんばこいばせんばのあいばあつ子”ですが!

県議会9月定例会では、「孤独・孤立対策についてや教育行政、新型コロナ対策、NPT再検討会議や県再犯防止推進計画について」など、今議論していかねばならない課題について県を質す質問を行い、精力的に活動しております。また、長崎県議会議員の任期も残すところ半年を切りました。引き続き皆様の声に耳を傾け、地域の問題に真摯に取り組み、悔いの無いよう、力の限り頑張っていきたいと思っております。

メンタルヘルス対策も引き続き力を入れていきますので、お困り事がありましたら、いつでもご相談下さい。

今後とも皆様の声を県政に届け、誰もが笑顔で暮らせる長崎県、誰一人取り残さない社会の実現を目指して、子どもの未来のため、誰もが生きやすい社会になるように、誠心誠意、取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ご相談はお気軽に

あいばあつ子事務所

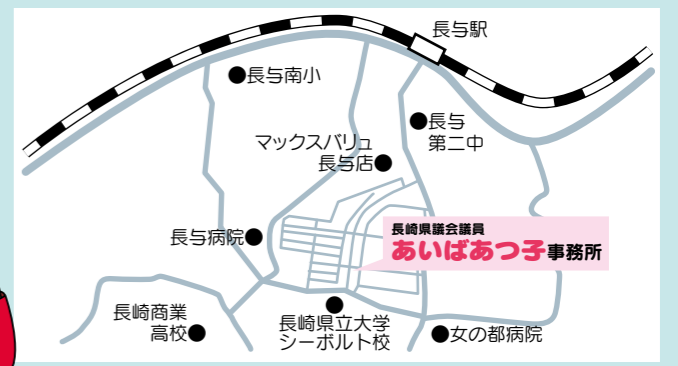
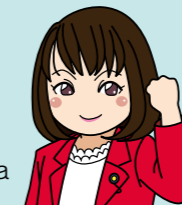
〒851-2130 西彼杵郡長与町まなび野3-6-5 メゾンR102

TEL・FAX 095-887-3131

ホームページ <https://aibaatsuko.jp>

メールアドレス aaiba@aatsuko.jp

<http://www.facebook.com/atsuko.aiba>





県政を問う

9月定例県議会報告

9月定例会は、9月12日から10月7日まで開かれました。補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策に要する経費、その他緊急を要する経費、「G7広島サミット」に合わせて開催される関係閣僚会合の経費です。議員提案の「長崎県ケアラー支援条例」を提出し、全会一致で可決しました。23件の議案を原案のとおり可決、同意し、「令和3年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について」など3件の議案を予算決算委員会に付託し、閉会中の継続審査としました。また、1件の請願を採択し、「私学助成の充実強化等に関する意見書」など2件の意見書及び1件の決議を可決しました。

孤独・孤立対策の取り組みを強化せよ

今年4月に、孤独・孤立に関する初の全国実態調査の結果が公表され、ほぼ3人に1人が何らかの形で孤独感があると回答し、その割合は20代、30代で高い傾向になっている。先日、安倍元首相が街頭演説中に銃撃されるという事件があった。この容疑者は、長い間、孤独と孤立の中において、自暴自棄になったようだと報道されていた。

どんな境遇にあっても凶悪な犯罪は決して許されないが、孤独・孤立が犯罪につながっているという事件も少なくないと思っている。犯罪を未然に防止するためにも、この孤独・孤立対策が大切と考えている。

誰一人取り残さない社会の実現を目指して、子どもの未来のため、誰もが生きやすい長崎県になるように取組が必要だと思う。

Q 大石知事も「誰一人取り残さない」と発言している。この孤独・孤立対策に対する考えを問う。

A さまざまな悩みを抱えている方が、人と人とのつながりを実感できる地域づくりを推進し、**孤独・孤立に至っても支援を求めやすい社会にすることが重要**である。

誰もが共に支え合い、地域で安心して暮らすことができる長崎県にしていくためには**市町や関係団体等と協力しながら、必要な施策を進めていく**。

Q 令和3年の自殺に関する統計では、女性の自殺者が7,068人と2年連続増加しており、今後もしっかりと対策が必要。県における自殺者の現状と対策を問う。

A 本県の女性の自殺者数は、令和元年66人、令和2年64人、令和3年60人と、2年連続で減少している。心のケア相談員や市町や社会福祉法人のうちの電話、ひとり親家庭など女性が多く相談される相談機関等と連携した相談対応を行っている。

新たな取組として、SNSを活用した相談窓口「こことこころのほっとライン@ながさき」を本年8月1日に開設し、支援体制の強化を図っている。

Q SNSの相談窓口「こことこころのほっとライン@ながさき」登録状況や実施体制は。

A 相談窓口は公認心理士や臨床心理士、精神保健福祉士等のスタッフが対応しており、**9月1日現在のSNSの登録者数は344人、相談件数は延べ436件**となっている。

子どもの未来のための教育行政へ

(1)教員の働き方改革

Q 2019年より働き方改革が進められているが、教員の長時間労働の実態は大きく変化してなくて、教員の勤務状況は苛酷になっているとの調査結果が出ている。「休憩時間がゼロ」が半数以上、残業時間は過少申告を求められた人が17%いたとのことだが、長崎県においても、教員の方々のお話では、同じような状況だと。県としては、市町からの報告を受けるだけでなく、本気で取り組む必要があると思うが、どのような対策を行っていくのか。

A 現在、教職員の休憩時間は、県内全ての学校において適切に設定されているが、児童会や生徒会活動等の指導やノートの点検、子どもの見守りなどにより、割り振られた休憩時間が十分に確保できていない状況も見受けられる。

一方、**残業時間の書き換えや過少申告は、ICカード等の活用と併せて、各市町、各学校に指導してきたところである。**

(2)子どもたちに居場所を！

Q 夏休み明けは不登校になる子どもたちが増える時期である。学校に登校するのが苦しい子どもたちに寄り添うことや、多様な選択肢が重要だと思っている。

不登校の現状と対策、そして不登校支援には官民垣根を越え、**学びの場を増やして居場所をつくること**がとても重要だと思う。県の見解は。

A 不登校児童数は、2,279人で、年々増加傾向にある。スクールカウンセラーの配置や電話相談窓口の設置等、教育相談体制の充実を図っている。

多様な学び場の民間の一つであるフリースクールとの連携についても推進していく。



(3)ネットいじめ対策を強化せよ！

Q ICT化が進む中で、タブレットのチャット機能でのいじめが発生している。

このネットのいじめは、普通のいじめとは違い、被害者の方が四六時中いじめられて心が休まる時間がないのではないかと危惧する。今後、ICT化が進むにつれて、ネットいじめの危険性がさらに高まっていくと思う。このネットいじめを早期発見、未然防止するための効果的な対策は。

A **教員の指導力を一層高め、児童生徒の情報モラルを育成**することが重要である。

このため、現在、LINE社と共同で開発した児童生徒参加型の情報モラル教材「SNSノート・ながさき」の活用を促し、**新たに作成した情報モラルに関する研修動画を教員の研修に活用**している。

(4)スクールバスの運用で負担軽減へ

Q 通学される児童生徒の足となるスクールバスについて、経路や停車地を増やしてほしいというようご相談をいただいた。大村のろう学校や時津の盲学校、虹の原特別支援学校へ通う方が、結構遠いところから通学している。通学が大変だから引越すというような状況もあると聞いている。

保護者負担の軽減のために経路や停車地をきめ細やかに**対処を**考えていただきたい。県の考えは。

A 自力での通学が困難な児童生徒のために、利用人数あるいは乗車時間など一定の基準を設けて、一部の学校でスクールバスを運行している。

停車地を増やす場合は、児童生徒が安全に乗降できるスペースや保護者による送迎のための待機場所を確保する必要があり、引き続き、**通学状況や学校、**

保護者からの意見を参考にしながら、児童生徒の通学支援に努めていく。

新型コロナ対策強化で倒産を防ごう！

Q 老舗のまるなか本舗、お菓子の店アリタ、お茶の山口園などの倒産が続き、とても寂しい気持ちです。そして、利用していたお店も閉店するなど、倒産、閉店が増えてきている。コロナ禍における県内事業所の倒産状況と、未然に倒産を防ぐ対策は。

A 負債額1,000万円以上の新型コロナウイルス感染症に関連した倒産件数は、8月末時点で34件、負債総額66億4,000万円であり、主な内訳は、宿泊業や飲食業を含めたサービス業が10件、小売業が9件となっている。

この中には老舗の店舗も含まれており、**県としても、事業者の経営環境が厳しい状況にあると緊張感をもって対応していく必要がある。**

本定例会で、事業者の資金繰りを支援するための**融資枠の拡大にかかる関係予算を計上**した。



〈その他〉

部活動の地域移行、再犯防止推進計画の社会復帰支援の実情、NPT再検討会議の成果、香害に関する理解促進など質した。

委員会報告

◆文教厚生委員会(委員会での私の質問)

Q 情報セキュリティ産学共同研究センターに、共同ラボへの応募企業すべてを入居決定した理由とその事業内容はどのようなものか。

A 3社の公募に対して5社の応募があったが、新規性・発展性の高い研究テーマの提案や、知名度の高い企業との共同研究による、大学の評価向上への期待、県立大学生のインターンシップ受入、採用、地元企業との連携など、**地域にプラスとなる計画が示されたことなどから、5社すべてを決定**した。

事業内容は、**サイバー攻撃情報の安全な情報に関する研究、セキュリティ対策技術の研究開発などをテーマに、共同研究が実施される**予定である。

◆総務委員会

西九州新幹線の開業から3日間、長崎駅周辺と水辺の森公園、県庁舎跡地、浜町、新大村駅、諫早駅、アーケード、市役所前を活用してイベントが行われた。イベント自体は好評であったが、ブルーインパルスの展示飛行等に伴い、長崎市内で大規模な交通渋滞が起こった。

一日駅長の「長濱ねる」さんには今後も長崎県の広報大使として活躍していただきたい。

◆農水経済委員会

車座集会「こんな長崎どがんです会」で、「新規就農者が農地やハウスの確保や取得の心配をせずスタートできる条件が整えられれば、本県で就農できるとの事」新規就農者確保のために、若い方たちが「快適で儲かる農業」になるよう、施策に取り組んでいく。

◆観光生活建設委員会

「飲食店における感染防止対策第三者認証事業費」は、認証店利用拡大キャンペーン第2弾として、飲食代金が一入2千円以上で千円のクーポンを1枚とし、さらに、来店当日でも使用できるように使いやすくした。

現行のキャンペーンでは、4千店ある認証店のキャンペーン参加が55%と少ない。また、認証店自体も県全体の飲食店のうち約36%に留まっているが、委託先や飲食関係団体とも連携しながら、キャンペーン参加店舗と認証店の増加につなげていく。

